

# 未来へ突き抜ける 炭鉱力。ゴットン。

# 作兵衛さんと 日本を掘る

炭坑画家 ● 山本作兵衛



「三池 終わらない炭鉱の物語」  
熊谷博子監督作品

朗読：青木裕子（軽井沢朗読館）  
ナレーション：山川建夫  
撮影：中島広城、藤江潔  
VE・美術：奥井義哉  
照明：佐藤才輔  
編集：大橋富代  
映像技術：柳生俊一  
音楽：黒田京子（作曲・ピアノ）、喜多直毅（ヴァイオリン）  
MA：小長谷啓太  
配給協力：ボレボレ東中野  
宣伝：リガード  
グラフィックデザイン：小笠原正勝  
協力：作兵衛（作たん）事務所  
撮影協力：田川市石炭・歴史博物館  
嘉麻市教育委員会  
福岡県立大学  
企画協力：RKB毎日放送  
助成：文化庁文化芸術振興費補助金  
製作・配給：オフィス熊谷

2018/日本/111分  
DCP/ドキュメンタリー  
©2018 オフィス熊谷  
www.sakubeisan.com

日 2020年7月28日 火  
時 19:00~21:00 (18:30開場)

会場 大竹財団会議室  
東京都中央区京橋1-1-5セントラルビル11F

参加費 一般=500円  
学生・大竹財団会員=無料  
主催 一般財団法人 大竹財団  
定員15名【要予約】

筑曲豆には低層が多  
かった狭みホタの多  
いのや根炭になら  
ぬのを天盤に残す  
ヤマもあつたからで  
尺無と名称してソノ  
も60センチ低の処は  
竹地位あつた  
先山石山ト先  
サシとも云うラ入  
で一日の出炭は凡  
余マイト使わす  
炭函五台二台の  
キリチン  
明治廿年代せよ  
上米開十士身  
月四十年代廿身  
上下米升1622身



1993 山本作兵衛  
ひきうちや  
すまんが  
うちの嬢が  
手ぎぎ  
夜且つや  
フトンの  
丸洗いの  
ゴットン

Web予約  
PC・モバイル共通  
<https://bitly/8doHU4k>





# 1964年、オリンピックの喧騒を遠くに感じていた労働者の見た風景は、 2020年、変わっているのだろうか？

熊谷博子監督作品

## 作兵衛さんと日本を掘る

出演：井上富美、井上忠俊、緒方恵美、菊畑茂久馬、森崎和江、上野朱、橋上カヤノ、渡辺為雄

2018/日本/111分/DCP/ドキュメンタリー ©2018 オフィス熊谷 www.sakubeisan.com



2011年5月25日、名もない炭坑夫の描いた記録画と日記697点が、日本初のユネスコ世界記憶遺産になった。暗く熱い地の底で、石炭を掘り出し運ぶ男と女。命がけの労働で、この国と私たちの生活を支えた人々の生々しい姿である。

作者の山本作兵衛さん（1892-1984）は、福岡県の筑豊炭田で、幼い頃から働いた生粋の炭坑夫だ。自らが体験した労働や生活を子や孫に伝えたいと、60歳も半ばを過ぎてから本格的に絵筆を握った。専門的な絵の教育は一度も受けていない。そして2000枚とも言われる絵を残した。

作兵衛さんが炭鉱の記録画を描き始めたのは、石炭から石油へというエネルギー革命で、国策により炭鉱が次々と消えていくさなかであった。その裏では原子力発電への準備が進んでいた。作兵衛さんは後の自伝で「底の方は少しも変わらなかった」と記している。その言葉から半世紀。作兵衛さんが見続けた「底」は今も変わらず、私たちの足元に存るのではないか？

作兵衛さんの残した記憶と向き合い、その絵しながらに働いた元おんな坑夫の人生や、作兵衛さんを知る人々の証言を通じ、この国の過去と現在、未来を掘る！ゴットン！

### 監督の言葉

熊谷博子

当時の炭鉱の姿ではあるが、私には、そのまま現代に思えた。中に描きこまれた労働、貧困、差別の問題、戦争への記述、共働き坑夫の家事労働に至るまで今と同じだ。特にエネルギー産業の労働構造は、完全に重なって見える。前回のオリンピックは1964年。首都圏が好景気に沸く一方で、筑豊には失業者があふれていた。作兵衛さんをめぐる人々が語る、今につながる炭鉱の意味。作兵衛さんと、絵の中の名もない人々とともに日本を掘りたい、と切に思った。



- ◎ 会場が密閉空間にならないよう常時換気を徹底しておこないます。
- ◎ 参加者同士の間隔をあげるため、通常よりも座席数を半分以上に減らします。
- ◎ 発熱や咳など、体調不良の方は参加をご遠慮くださいますようお願いいたします。
- ◎ 入場の際、アルコール消毒液による手指の消毒にご協力をお願いいたします。
- ◎ 会場内ではマスク着用をお願いいたします。
- ◎ 状況により開催中止となる場合もございます。大竹財団ホームページをご確認ください。

新型コロナウイルス感染防止対策とお願い

上映会のご予約・お問い合わせ

一般財団法人 大竹財団

- 📍 東京都中央区京橋1-1-5 セントラルビル11階  
JR東京駅八重洲中央口から徒歩4分（八重洲地下街24番出口右階段すぐ）、  
東京メトロ京橋駅7出口から徒歩3分、東京メトロ日本橋駅B3出口から徒歩4分
- 🌐 <https://ohdake-foundation.org> ☎️ 03-3272-3900



Google  
マップ  
QRコード

スマートフォンのQRコードアプリで読み取ると、現在地から会場までのアクセス方法が検索できます

